

産大生と地域のかけ橋

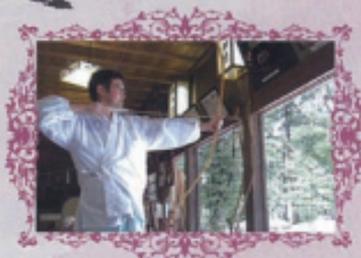
ローカレッジ

Local × College

Vol.2~3 2号連続特集

西山の伝統とこれから

三田物部神社 弓始めの儀
石地わさび園 行ってみよう!!



まちかど研究室

冬のイベント報告
スタンプラリー&勉強カフェ

近隣のまちに学ぶ
長岡&上越 グルメと戦争伝承
観光大使の部屋 ♥



産スポ サッカー部・水球部
小・中学生とスポーツ交流



二田物部神社 弓始めの儀

取材・文・デザイン：神田夏海・駒村彩佳 イラスト：丸山町奈

2016年2月7日に西山町の二田物部神社に取材に行きました。午後から行われた弓始めの儀を見学・体験し、貴重なお話も聞くことができました。地域とそこで育まれた伝統文化について改めて考える機会になりました。



由緒ある越後二の宮

西山町にある二田物部神社は、927年成立の「延喜式」神名帳に名前が記載された式内社であり、一の宮の磐坂神社に並ぶ越後二の宮の称号を享受している由緒ある神社です。2000年以上の歴史があり、戦国時代から江戸時代にかけては幕府や武将からも厚い信仰を受けたといえます。二田天物部命、物部神孫命、健甕名石命の三柱の御祭神を祀っています。

二田物部神社が所有するもののうち、一對の大造石犬と神社の本殿は、県の有形文化財に指定されています。その他にも将軍徳川家光から寄せられた朱印状や

Vol. 2～3 2号連続特集

西山の伝統とこれから

本誌 Vol. 2～3では2号連続の特集として、柏崎市西山町地区を学生が訪れ、そこでの体験や出会った人、感じたことを自身の言葉で紹介していきます。

今回は西山町地区二田地域の「二田物部神社」で古くから行われている『弓始めの儀』を取材しました。全国的にも珍しく、また貴重な伝統行事をお伝えできればと思います。さらに今、注目の「石地わさび漬」では、新しい観光農園の挑戦を、美味しく楽しく学びました。



▲二田物部神社の所蔵物である木彫りの狛犬です。県の指定文化財でもあり、室町時代の作とされています。体長は60cmほどで、それぞれに個性的な特徴があります。

明徳5年（1394年）に損かかれた神社殿巻図などの貴重な宝物が多く残されており、これらの宝物は神社の長い歴史と信仰の厚さを物語るっています。

願いを込めて

弓始めは全国の神社で行われている正月の年中行事です。新年にはじめて弓を射るといふ現在の形になったのは鎌倉時代以降ですが、起源は大和朝廷時代まで遡るといいます。二田物部神社では毎年2月7日に行っていて、この日は旧暦の七日正月にあたります。

また、他の神社の弓始めでは神職や弓道経験者など限られた人が矢を射る場合が多いですが、二田物部神社では参加者全員が矢を射ることが出来ます。一人あたり4本の矢を願いを込めて射て、的に命



中させるとその願いが叶うとされています。

御祈願をし、地域のそれぞれの家庭の代表者が順に玉串を納めた後、順番に矢を射ます。直会をしながら楽しい雰囲気になりながらやっています。地元からの参加者には毎年参加している人もいて、見事に的を射抜く人もいました。一番最初的に的を射た方にお話を聞いたところ、15年参加して今年初めて当たった

▼過去の記録です。一番の古いものは大正14年のものだそうです。



▲矢を当てるの直径は44cm、的の直径は22cmあります。

た、家来・交通安全と五穀豊穡を願ったことお祈りしています。
私たちも教えてもらいながら矢を体験させていただきました。構えるだけでも力が要るので的を狙って射ることはとても難しかったです。的の距離まで矢が届かないこともあり、取材後から練習者は出ませんでした。

▼地域の方々が順番に矢を射っている



地域の誇りとして

この神社の神宮を務める三嶋史史さんにインタビューをしました。「二見にぎやかな祭りだが、矢を射ることで心の忍が通るといふ神事としての目的があると考えている。消えゆく伝統行事も多いため、地域の誇りとしてこの行事が続くことを願っている。若い人にも参加してもらいたい」とお話ししてくださいました。実際に矢を射たときに、矢が飛んでいくのと一緒に心ちつきりするような爽快感を感じました。若者から年配の方まで幅広い世代の人が同じように楽しめる行事だと思っています。

弓始めを通じて、若者が伝統を受け継ぐことの重要性や地域のつながりの温かさについて考えました。これらについてあまり重要視しない人も多いようですが、地域やそこに住む人々が豊かであるためには、ないがしろにしてはいけない大切なことであると改めて思いました。地域の若者として、また博物館学芸員課程の学生として、今回の取材は素晴らしい経験になりました。



石地わさび園 行ってみた!!



店内で販売されているわさびの様子。大変みずみずしく、目が離せませんね。

取材：梅澤佑介・藤原将大・本田沙 文・デザイン：本田沙 イラスト：丸山莉奈

石地わさび園は、柏崎市西山町沿岸部の広い土地を利用した、大変珍しいわさび園です。最近ではメディアでも数多く取り上げられ、今注目されている新しいタイプの観光農園です。

そもそもわさび園を運営している土佐工務店さんは建設業者さんなのですが、何故わさび園を経営することになったのでしょうか。それには理由があります。近年の建設業は公共事業の削減に伴い、会社の継続・経営の安定及び雇用の維持拡大に影響があり、厳しい状況にありました。そこで他社との差別化を図るために検討・調査し、県内では皆無に等しいワサビの栽培に着目しました。特に社有地が県内有数の石地海水浴場に位置し、初春から晩秋までの行楽を求めて石地海岸に多くの観光客が足を運ぶこと、さらに全国でも珍しい海沿いで育てるわさび栽培を成功させることにより観光農園事業として六次産業化が図れると判断し、平成23年「にいがた産業創造機構」か



2016年3月4日に西山町の石地わさび園に取材に行きました。施設内を見学し、社長の土佐邦夫さんから石地わさび園を運営するに至った経緯や、平成25年にオープンしてからのことをお話ししていただきました。

注目！海沿いで育てるわさび！

らの、事業採択に伴い新規事業に着手するに至ったわけですね。

社長の土佐邦夫さんとはとてもフレンドリーな方でお話もうまく、眼・耳が離せませんでした。取材中は時間が経つのが早く感じられ、あっという間で、もっとお話が聞きたかったです。

取材中の様子、土佐さんのお話を真剣に聞いています。



美味しいわさびを求めて

わさびを育てるのに必要な条件が三つあります。一つ目は水質です。弱酸性で軟水でなければなりません。二つ目は水温。一年を通して13度前後で安定していること。三つ目は水層です。やはり十分な水層がなければ美味しいわさびはできません。以上の三つを石地わさび園の栽培ハウスはクリアしており、大変立派な極上のわさびが栽培可能なわけです。またわさびは栽培するのに2年かかるため、4棟のハウスで1年ごとにローテーションを組んで、いつでも販売できるようにしています。

ハウス内で実際にわさびを育てて下さった土佐さん、立派なわさびです。



新潟県産振興会（新園の産業・企業を知る講座「地域振興論」）では、留学生を含む多くの学生が見学させていただきました。

石地わさび園の敷地面積は約1万2千平方メートルと広く、施設内には様々な設備があります。まずは屋内売店。園内には加工場があり、そこで加工したわさびやわさびを使用した商品が販売されており、目移りしてしまうほど素晴らしいものばかりです。屋外にはハウスが4棟あり、とてもさわやかな気分になれること間違いなしです。また、ニジマスの釣り堀や

鴨の生息する池があり、目をひかれます。鴨は観光客に慣れているのか大変人慣っこいです。

わさびソフトクリーム い・た・だ・き・ま・す

今回の取材で、わさび園お初めのわさびソフトクリームを食べてみました。甘いソフトクリームに、ほのかに香るわさびの清涼感ある香りが食欲をそそります。口に入れたときに、まずはソフトクリームの甘みが口いっぱいに広がります。少し遅れて、つんとしたほのかな辛みがやってくるのですが、それがアクセントになって、とても美味で大人の味という感じでした。

わさびソフトを食べている様子。あまりの美味しさに取付陣と笑顔になってしまいます。



わさびコロコック。外はサクサク、中はふわふわと絶品です。

最後に、土佐さんは今後は敷地内にパーベキュー場やレストランを作り、お客さんにゆつくり楽しんでもらう観光地にしたと語っていました。わさび園の夢はまだまだ広がります。



わさび園とわさびの両者御出掛け。ご自身のお供にぜひ！



小・中学生と交流 真剣サッカー指導

産大スポーツ

第3号

発行所

新潟産業大学
<教職課程>

アシスタントコーチとして指導する学生

サッカーを通じて 地域を活性化！

産大サッカー部では、地元の人たちとの交流を増やし、大切にしていこうという考えのもと、地元の中学生と合同練習を行い、サッカーを通して交流をしています。人数が集まる心配でしたが、多くの中学生が練習に参加してくれました。

緊張していた中学生に、大学生から積極的にコミュニケーションをとることで緊張をほぐすことができ、合同練習を行うにつれ、中学生もリラックスして自然と会話も増えていました。最初は多く話せなかった中学生も少しずつ声を出したり、緊張がなくなったせ

いか、最初は硬かった表情にも笑顔が見え、楽しそうな表情も見えるようになりました。この活動では、交流を深めることもできましたが、大学生、中学生ともに感じたり学べる部分が多々あった活動の場でもありました。

また毎週月曜日、木曜日には柏崎の小学生サッカーチームに学生がアシスタントスタッフとして練習に行き、ボール出しやお手本として練習をサポートしています。小学生の楽しそうにサッカーをする姿は、自分たちにサッカーの楽しさだったり、小さな成功の喜びだったりを伝えてくれます。また、幼いころに教わったサッカーの基本などを小学生に教えることで、自分も普段忘れていたことを思い出させてくれます。

十年、二十年先も・・・

地元の小中学生と交流を深める機会はないなかなかで、自分たちが好きなサッカーで繋がり、交流できたことで、少なからず柏崎の人たちとの関わりが増え、産大サッカー部としての繋がりが多くなったと思います。この繋がりを大切に、さらに増やしていきたいと思っています。

白熱! 小学生水球交流会

8月上旬、ブルボンKZ主催の小学生水球交流会が柏崎工業高校のプールで行われ、真夏の日差しが機々と降りそそぐ中、小学生の活気ある声援とチーム内での掛け声、審判のホイッスルが空高く響き渡りました。

産大水球部は平成27年4月から一体化したブルボンKZの活動の一環として、6月中旬から8月上旬まで市内の小中学校約十数校への水球指導を行いました。特に、交流会に参加する小学校では水球の指導を行い、水球の簡単なルールや基本的なパスやシュート、ドリブルなどの動きを丁寧に教えました。この取り組みは一体化される数年前から実施されてきました。

指導を通じて 地域と関わる

この水球指導の一番の目的は、マイナースポーツである水球をより多くの人を知ってもらう、水球にふれる機会を設けることで、市内での認知度をあげ、水球人口を増やして、「水球のまち柏崎」をより盛り上げて地域のまちをおこしに繋げていくことです。現在、



産大水球部とブルボンKZ による水球指導で 目指せ！オリンピック選手

産大水球部は平成28年度大学の新入生を含め、男女合わせて40人以上の部員が所属する予定です。この中で市内出身者は3名であり、多くの部員は県外出身者であるのが現状です。一般的に県外出身者の多くは卒業後地元に戻って就職をすることが多いですが、水球指導を始めてからは水球を子どもたちに教える楽しさや達成感、大学4年間お世話になった柏崎市に貢献したいという想いから柏崎市で就職し、ブルボンKZの下部組織でコーチをする卒業生も出始めました。

このように水球をするために地方の大学へ来た学生がスポーツだけでなく、地域の人々と交流を持つことで柏崎市に興味を抱き、この地域で就職し、水球と関わっていくことが、この地域の活性化に繋がると考えられます。

柏崎市出身の オリンピック選手を!

今回32年ぶりのオリンピック出場を決めた水球日本代表にブルボンKZから4名の選手が選出されて、メディアの露出も増え、にわかに水球人気も高まっています。

そんな中、水球を本格的に始めたいという小学生のために柏崎アクアパークなどで水球教室が開かれることになりました。今後、この子どもたちの中から産大、ブルボンKZに入り、柏崎市出身のオリンピック選手が輩出されることを期待しています。



新潟工科大学 研究室



平成27年12月12日に産大と工科大の学友会が行ったスタンプラリーと、12月14・18日・21・29日に産大の権田ゼミが行ったまち研勉強カフェについて紹介します。



商店主とのコミュニケーションも楽しみました

冬の商店街で元気に スタンプラリー実施!!

12月12日に新潟産業大学と新潟工科大学の二大学の学友会の初の共同企画として、小学生を対象にした「スタンプラリー＆オリエンテーリング」商店街を行いました。駅南・駅仲・ニコニコ・ピツカラ・えんま通りの各商店街にある店舗・施設のご協力のもと、小学生53人が冬の商店街を元気に歩いてまわりました。商店街を歩くことで参加者が各店舗や施設、地域の魅力を知ってもらうことを目指しました。



2時間で40箇所以上の店舗・施設を訪れてスタンプを集めます



小学生は3人1組でスタンプカードを持ち、学生スタッフ1名と一緒に市民プラザをスタート。協力店舗を回り、お店にちなんだクイズに挑戦しました。飲食店では、「一番人気のメニューは？」などのクイズが出されました。正解ごとにスタンプを集め、多く集めた上位5グループには提携店で利用できる地域通貨の「風輪通貨」などが贈られました。参加者へのアンケートによると「楽しかった。また参加したい」との意見がとて多く、天候にも恵まれ、初の試みは大成功でした。



まち研で販売された 野菜には秘密が!?

スタンプラリー当日、まち研前ではにんじんの販売が行われました。工科大のバイオエネルギー工学研究室の活動で、食用油の原料にしてBDF燃料（バイオディーゼル燃料）が生産される際に発生する液体のアルコール含有グリセリンを、メタン発酵させると液肥ができます。その液肥を利用して、工科大学卒業生によって栽培された野菜です。



産大と工科大の学友会メンバー集合!

新潟産業大学 × まちかど

冬の
イベント
報告

高校生・社会人の方に
勉強&休憩スペースを提供!!

「勉強カフェ」を考えたきっかけは、知り合いの方から言われた一言で、「仕事終わりに休憩できるスペースがほしい」という意見でした。さらには、若者を店舗街に呼ぶために、学生に焦点を当て、勉強や読書、くつろぎのスペースとして活用してほしくないかなどこの企画を考えました。

「勉強カフェ」のオープンに向けて、市内のおしゃれなカフェを参考にしたり、どんな空間を作ったらよいか研究したり、新潟田市にある敬和学園大学が運営しているカフェを見学し、お話を伺ったりして、イメージを膨らませました。また、柏崎高校の年生にご協力いただき、アンケートを実施。「まちかど研究室を知っているか」「どんな勉強スペースを望んでいるか」など、高校生のニーズを把握しました。その後、アンケートをもとにして、カフェに必要な家具やキッチン用品、食器等を少しずつ揃えていきました。

暖かい室内で勉強もはかどります



主催のミニ公開講座「中国語サロンドでは、ホットケーキふるまいました。」



学生が運営するため、知識のない状態からのスタートでしたが、保健所の方にアドバイスをいただき、まち研の設備などを踏まえて、未開封の菓子を入れて飲み物は1カット無料サービスというスタイルにしました。まずは、まち研での公開講座でプレオープンとして何度かふるまいをし（参加者が把握できる講座では調理したものの提供も可能とのこと）、そこで出た反省点を改善してオープンを得ました。4月から半年間企画を練って12月によくゆくオープンすることができた勉強カフェは、予想以上に多くの学生や地域の方から利用していただきました。私たちが出すふるまいを食べながら、



カードも頭をつけてくれた高校生も！



友人と楽しそうに勉強している様子がうかがえました。スタッフに声をかけて下さった地域の方のお話も楽しみました。また、他のゼミナールの学生にもスタッフを依頼したことで、学生同士で協力しながらスムーズに活動ができました。来年度もこうした機会がありましたら、ぜひ地域の皆さんに足を運んでもらいたいです。

ちに学ぶ



長岡の生姜醤油ラーメン

ご当地ラーメン
新潟県はラーメン屋が多くて各地でご当地ラーメンがあり、新潟五大ラーメンが根付いています。長岡ではスープに生姜の効いた醤油ラーメンが「長岡生姜醤油」と呼ばれるご当地ラーメンが確立しています。私は柏崎はラーメン屋が多いというイメージを持っており、美味しいところもたくさんあります。ただ、柏崎のラーメンとしてブ

ランドというブランドがあるわけではありません。一つブランドを確立するともっと集客しやすいのかなと思います。ちなみに生姜醤油以外の五大ラーメンは新潟市のあさり醤油・新潟市の濃厚味噌・燕三条の青筋・三条の力強いラーメンです。



模擬原爆投下地点の碑



が亡くなっています。柏崎になぜ模擬原爆が落とされたかはよくわかっていません。大工場があつたわけでもなく、落とすように指示した資料も特に無いようです。
長岡は「二度の空襲」・「暴下準一の都市空襲」があつたため市民に知らし

本稿の担当者は柏崎市外の出身で、外からの視点で柏崎を考察しようと思い、戦災伝承や地場食材のことを取材しました。
地場食材、グルメに関しては、柏崎に限らず、近隣の長岡、上越にも素晴らしいものが多くあります。肥沃な大地と豊かな気候が育てた野菜、新潟が誇るご当地ラーメンなど、市外に目を向ければ新たな発見があるのかもしれません。
歴史を知り、食を知ることでよって、生活にちよっと潤いを与えてみませんか？

長岡&上越 グルメと戦災伝承

戦災伝承のために

めようとしており、戦災資料館の設置や模擬原爆投下地点の碑の設置などを行っています。特に公立の戦災資料館は全国的にも珍しいです。柏崎は長岡より戦争被害が小規模であるため、あまり戦争継承は行われず小さな案内板を建ててくらくらいです。しかし、戦争体験者が年々減少していく中、柏崎に限らずどの地域であろうと史実を如実に伝えることは大切だと思います。案としては、案内板を大通りに作る、投下地点に碑を建てる、当時を知る人に語ってもらう、などが考えられます。



模擬原爆投下地点への案内板

隣のま

柏崎&

上越

美味なる

地場野菜

皆さんは、「地産地消」という言葉を

ご存じでしょうか。地域で生産された様々な生産物や資源を、その地域で消費することです。これは何の食べ物も新鮮なうちに食べられることや、地域経済の活性化、地域への愛着の形成、地域の伝統食文化の維持と継承など、多くの長所があります。

その代表的なものに「地場野菜」というものがあります。ここ柏崎でも、そしてお隣上越市でも、もちろん多くの野菜が生産されています。

今回はその中からいくつか紹介します。また、その野菜を使ってどのような料理が作れるのかを試してみましたので参考にどうぞ。

地場野菜の効果、健康な食身をご覧ください。

オータムポエム



柏崎だけでなく、お隣上越でも多く作られている野菜です。見た目は菜の花ですが、苦味やクセも無く、ほんのりとした甘みが特徴です。

βカロテンが豊富で、抗がん剤作用があるだけでなく、体内でビタミンAに変換されるため、髪、皮膚の健康維持にも効果があります。カルシウムやカリウムも多く含み、骨を丈夫にし健康を維持する効果があります。



オータムポエムのクリームパスタ

なめらかクリームソースのパスタにオータムポエムを投入。オータムポエムの優しい甘みに、黒コショウのアクセントが堪らない一品。

平成8年生まれの新選ブランドいちご。甘みが強く果肉が柔らかく、酸味が少なく、ジューシーなのが特徴。越後姫に限らず、イチゴはビタミンCが豊富で、風邪予防、美肌効果はもちろんのこと、貧血予防、高血圧予防、動脈硬化予防、脳梗塞予防、心筋梗塞予防、がん予防にも効果があると期待されています。



越後姫



越後姫のムース

そのまま食べても美味しいけれど、ちょっぴりと工夫。混ぜて冷やすだけのお手軽デザート。優しい口当たり。

アيسプラント



糸魚川や上越市で栽培されている南アフリカ産の野菜。葉の表面を水滴のようなものが覆っている美しい野菜で、ほんのり塩味がするのも特徴。多くの機能成分が含まれ、生活習慣病予防、抗酸化作用、抗老化効果があると期待されています。



アイスプラントとトマト、新玉ねぎのマリネ

アイスプラントを入れるだけで彩り、食感にも変化が、冷しゃぶに入れても美味。メインで食べるものではないが、それ故に使い方は幅広い。

今回紹介したもの以外にも多くの地場野菜があります。

皆さんも美味しく食べて、健康な生活を送ってみては...?

～観光大使の部屋♡～



高橋柚花
(文化経済学科1年)

私たち、
かしわざき観光大使です!!

♡平成27年度のお仕事紹介♡



五十嵐柚葉
(経済経営学科4年)

北陸新幹線開業イベント



2015年3月14日に開通した北陸新幹線のイベントに参加しました。金沢駅でえちゴンをお出迎えし、上越妙高駅までの車中で観光パンフレットをお配りしました。開業前から遊びに来てくださる方が増えるといいなさ♡



2014年4月に行われた上越妙高駅開業イベントに、上越市、佐賀の大使さんとお祝いをしてきました。ステージでは観光PRと抽選会を行い、当選された方には抽選の名産をプレゼントしました。

東京メディアキャラバン

恋人岬での除幕式



恋愛成就スポットの恋人岬に新しいパルが設置されました。初鳴らしは市内に住むカプルをお願いしました。姉妹提携を結んでいるガムにもパルの音が届くよう、皆さんも鳴らしに来て下さいな♡



上越の近隣の近隣5市(上越市・妙高市・柏崎市・十日町市・佐渡市)で歴史・自然・食を満喫できる「越五の国」を全国的に発信するプロジェクトです。別途レポートの紹介をし、5市を回って楽しんで欲しいとアピールしてきました。

産大生と地域のかけ橋 ローカレッジ Vol.3

2016年3月30日発行

編集・発行責任者
新潟産業大学 経済学部講師
横田 昌子

この冊子に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。
今後の参考にさせていただきます。

〒945-1383 柏崎市野井川4730番地
新潟産業大学 総務課
TEL: 0257-24-6655
FAX: 0257-22-1300

この冊子は、柏崎市の委託事業である平成27年度大学・地域連携推進事業「学生と市民による地域の魅力発信・発信のための広報誌制作」の活動として編集・発行しました。大学生が地域の人々と関わり合いながら、柏崎の魅力を再発見し、自身の手で情報発信していきます。市民プラザ、アルフォーレ、ソフィアセンター、コムセン等で配布しています。今年度予定していたVol.3まで発行するにあたり、1～4年生の約30名の産大生が取材、編集に参加し、そのなかで地域の方々のご協力により、学生たちは多くの貴重な体験をさせていただきました。ここに厚く御礼申し上げます。新年度も「ローカレッジ」は引き続き年間数回の発行を予定しています。今後もお手にとって頂ければ幸いです。

編集スタッフ: 経済経営学科4年 五十嵐 柚葉
経済経営学科4年 鎌田 悠汰
経済経営学科3年 島岡 謙
文化経済学科3年 高橋 桃花
経済経営学科2年 内山 高平
経済経営学科2年 大口 博史
経済経営学科2年 田中 稔
経済経営学科2年 松島 翔

文化経済学科2年 梅澤 佑介
文化経済学科2年 高橋 遼丈
文化経済学科2年 藤原 将大
経済経営学科1年 本田 沙
文化経済学科1年 神田 夏海
文化経済学科1年 駒村 彩佳
文化経済学科1年 丸山 莉奈